



2025(令和7)年11月

なぎなた通信

第1号

発行責任者 会長

東風平中の掲示物より

小さいことほど
丁寧に。当たり前
のことほど真剣に。

第28回わくわくなぎなたフェスティバル リズムなぎなた発表会

去る10月12日(日)に第28回沖縄県スポーツ・レクリ

エーション祭の一貫として、私たちなぎなた連盟は、「わくわくなぎなたフェスティバル」を県立武道館アリーナで開催しました。



今年度の大会は、石田丘保育園の幼児をはじめ、スポーツ少年団チームや中学校の部活動生など、5団体、67名の参加のもと、盛況のうちに終了することができました。

イベント成功の最大の要因は、保育園や小・中学校の園長・校長が引率者をこころよく派遣して頂いたり、保護者の皆様が送迎に係るご苦労を引き受けたおかげです。役員一同あらためて感謝申し上げます。

また、指導の先生方や保護者の皆様が日々の稽古の中で、子供たちと一緒にリズムなぎなたの振付を考えたり、演技指導を丁寧に行っていただきました。

そのおかげで、普段のなぎなた大会とは一味違うイベントとなりました。好きな曲にあわせて振付を行い、しあげ・おうじの基本動作を組合せて創った演舞で、各クラブとも個性豊かな演目となりました。

さらに、リズムなぎなたの発表の後に、なぎなた連盟強化部の先生方の指導のもと、基本動作やしあげ・おうじの練習を行う「錬成大会」を行いました。将来のなぎなた界のエースになる幼児・児童・生徒が高校生の手ほどきを受けながら、真剣に練習している様子は、頼もしい限りでした。なかでも、多くの観衆が、2歳児のコミカルな可愛らしい所作に目を引き付けられていきました。

そして、今年度は、昨年までと違って、初心者向けの「なぎなた体験会」を行いました。体験してみたいいちびっこや小・中学生、保護者の皆さんなど、多くの参加があり、たいへん盛り上りました。(瀬底副会長のコメント・・ご苦労様です。素晴らしいです。初めて体験するという皆さんがあれほど、たくさん参加してくれるとは思いませんでした。若い会員の指導や補助などの協力もあり、大変講評でした。)

リズムなぎなた演武の様子(次ページに掲載)



いしだ丘保育園 (5歳児8名 4歳児17名)

笠原先生のご指導のもと、週1回なぎなたの稽古に励んでいます。今日は、HIRYOの曲に合わせて元気いっぱいなぎなたを披露します。ドキドキしていますが、応援よろしくお願ひします。



与那原町なぎなたスポーツ少年団 (園児3名、小学生14名、計17名)

部員皆で、曲の候補を出し合い、曲を選びました。泉さやかさん、ほのかさん、大木ひかりさんや初子先が完成するまで、応援してくれました。部員それぞれ、なぎなたの見せ場があります。夏の元気を感じる曲に負けないよう、「えいっ！」と皆でそろって元気よく構えるところもあります。日頃、お姉ちゃんやお兄ちゃんのなぎなたの稽古を見ている2歳児の面うちも見所です。

西原なぎなたクラブ (小学生8名、中学生1名 計8名)



西原なぎなたクラブは、「みんながヒーロー」をモットーに、小学2生年から中学生までの9名で活動しています。なぎなたを初めて間もないメンバーもあり、経験に応じて、少し難しい動きにもチャンジしています。高学年が行う掛け合いで、6本目をアレンジ。相手の呼吸に合わせて攻める、抜くの動きを取り入れました。また、しきけ・応じの際の隊形移動も工夫しています。今日は、心を一つにみんながヒーローになれるように一生懸命頑張ります。



西原東中学校 (1年生8名、2年生1名 計9名)

今日は、GENJIという曲に合わせて、リズムなぎなたを披露します。練習では、「タイミングが合うか」や「ダイナミックで元気な演技にするにはどうしたらよいか」をみんなで話し合いながら、頑張ってきました。二刀流や掛け合いなど、決まった時には、ぜひ拍手をお願いします。



与那原中学校(1年4名2年3名 計7名)

リズムとはらいの音が合うように意識しました。サビはもともとあった振付に似ているものにして、統一感を持たせました。様々な体系を取り入れ、見ている人が飽きないよう楽しめるようにしました。